

岡山市

第六次

総 合 計 画

未来へ躍動する **桃太郎**のまち岡山

【概要版】



策定の趣旨

岡山市は、平成21年4月の政令指定都市移行に合わせて、「岡山市都市ビジョン 新・岡山市総合計画」を策定し、これに基づき着実にまちづくりを進めてきました。

一方、我が国を取り巻く社会経済状況が大きく変化し、今後岡山市においても、人口減少社会の到来が見込まれる中、変化を実感したいという市民のまちづくりへの期待の高まりを踏まえ、岡山市らしさを発揮しながら、都市の活力を生み出し、さらなる岡山市の発展を実現していかなければなりません。

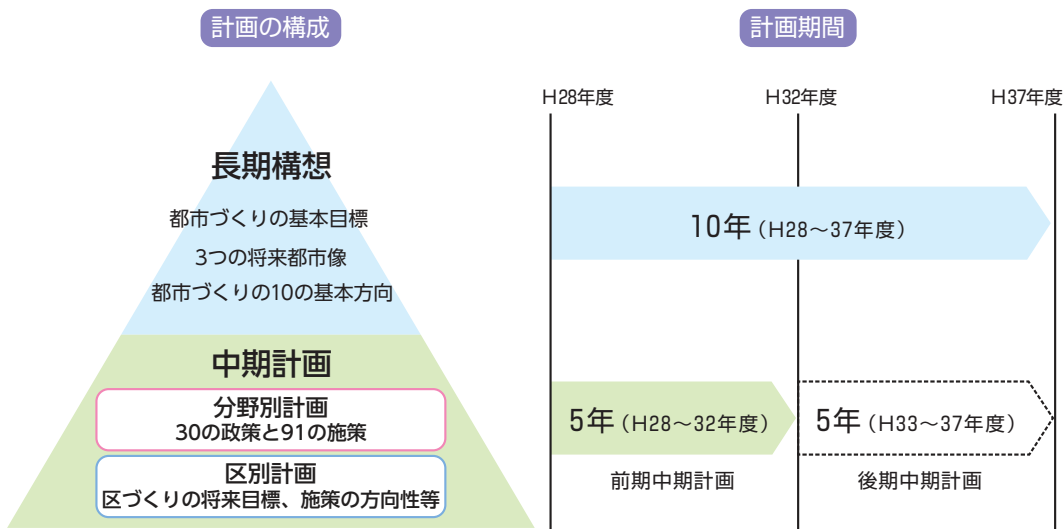
このため、本総合計画は、「水と緑」に象徴される都市ビジョンの理念を引き継ぎながら、住みやすさに一層の磨きをかけるとともに、国内外を視野に入れた未来志向の躍動感のあるまちづくりを、市民と行政が協働して進めることにより、まちの変化を創出し、まちの活力、市民の岡山への愛着と誇りを高めることをめざし、策定します。



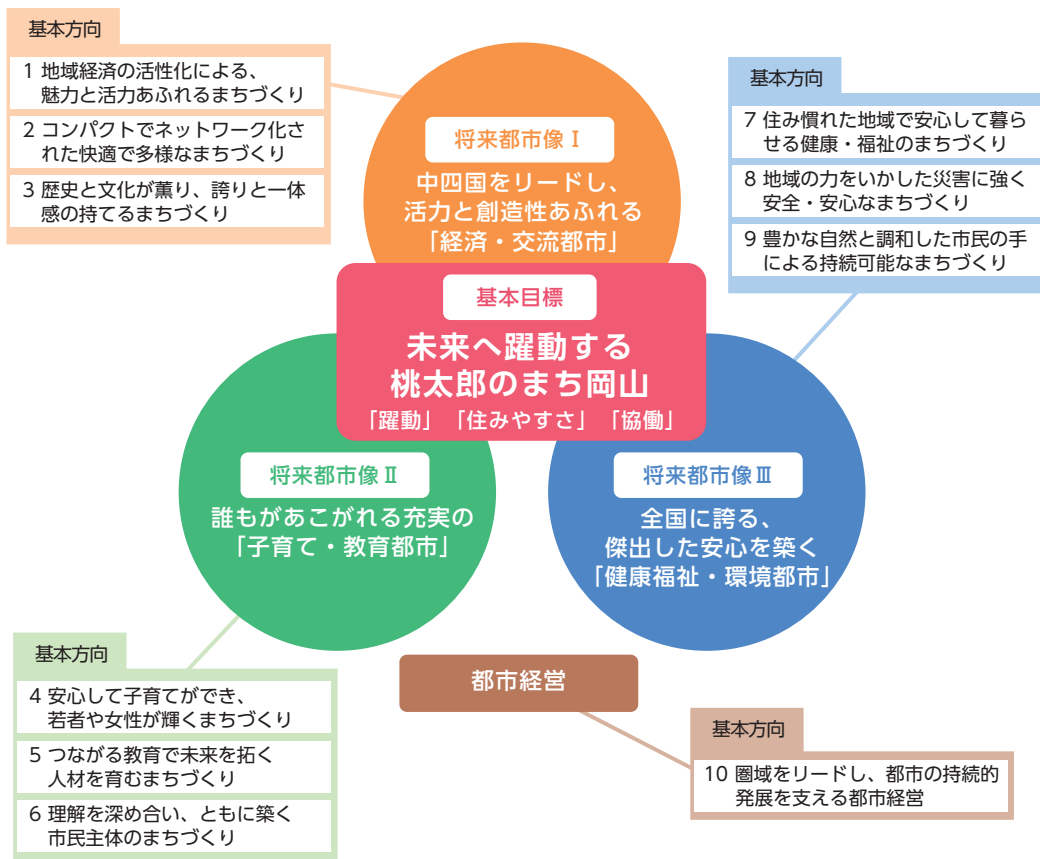
計画の構成・期間

総合計画は、「都市づくりの基本目標」と「将来都市像」を定めるとともに、その実現に向けた「都市づくりの基本方向」を明らかにする「長期構想」と、長期構想に掲げる「都市づくりの基本目標」の実現に向けて、政策・施策の体系を明らかにするとともに、具体的な施策展開の方向性を示し、岡山市の都市づくりを総合的・計画的に進めていくための指針となる「中期計画」で構成します。

第六次総合計画の構成



第六次総合計画の全体像

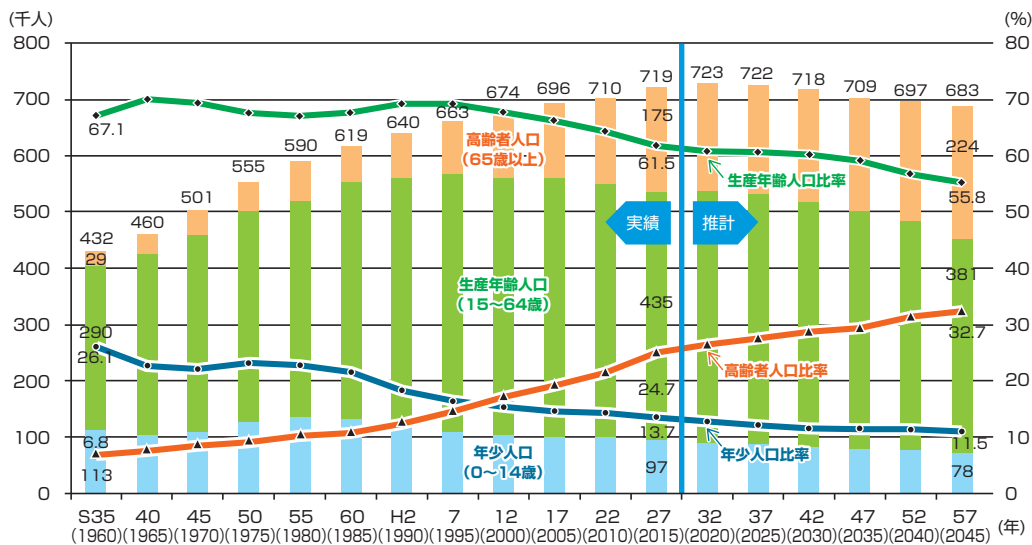


時代の変化や要請

■ 人口減少問題と少子高齢化への対応

- 人口の東京一極集中の進展
- 岡山市も長期構想の計画期間中にピークを迎え、人口減少期に突入、高齢者人口の増加と中長期的な生産年齢人口の減少
- 人口減少社会を見据えた都市構造の転換が必要

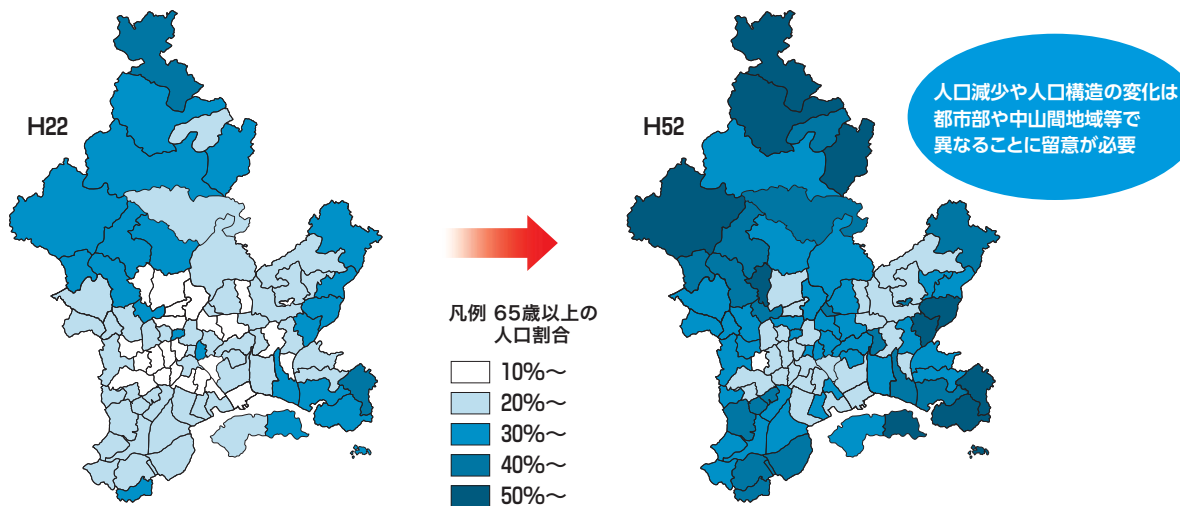
岡山市の将来人口と人口構成比の見通し



(注) 人口等は現在市域。人口総数には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出。

(資料) 総務省「国勢調査」(実績値)、岡山市推計結果(推計値)

高齢化の進展



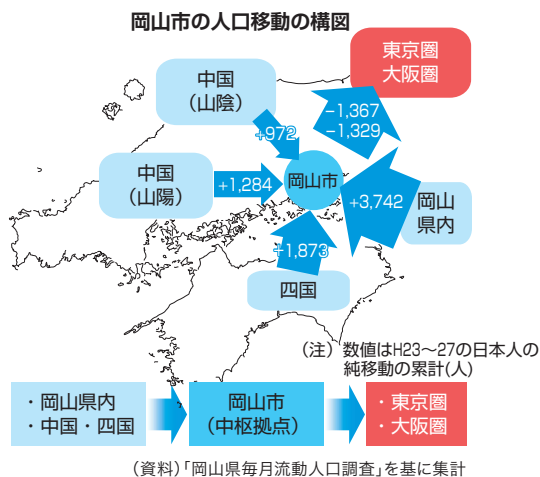
(資料) 総務省「国勢調査(H22)」、岡山市推計結果(H26)

■ グローバル化・情報化のさらなる進展

- グローバルな視野に立った施策展開の必要性
- ICT (情報通信技術) の有効活用による効率的・効果的な市民サービスの向上

■ 地域経済の活性化、広域的役割への期待

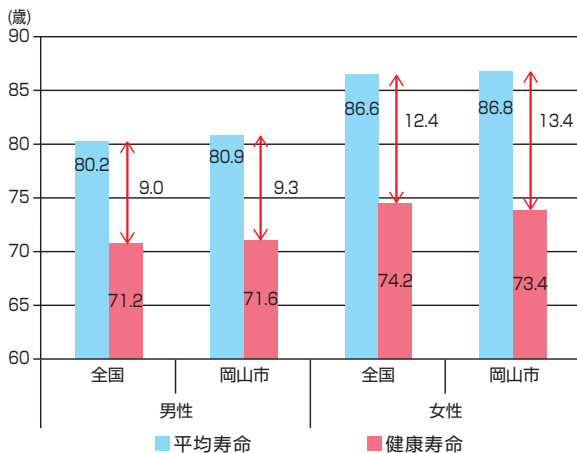
- 東京圏等への人口流出の歯止め、若い世代の岡山への定着
- 雇用と活力を生み出す戦略的な産業振興、農業の担い手不足への対応、観光誘客・受入れ力の向上
- 中心市街地の持つ役割の重要性の再認識
- 都心部、周辺部を通じた公共交通の利便性向上
- 広域的な行政課題への効果的対応



■ 安全・安心に対する市民意識の高まり

- 頻発する集中豪雨等や南海トラフ巨大地震の発生の危険
- 老朽化する都市インフラの計画的な予防保全等の適切なマネジメント
- 医療・介護需要の増加、健康づくり、生涯現役のサポート

平均寿命と健康寿命の全国比較



(注)健康寿命:日常生活に制限のない期間

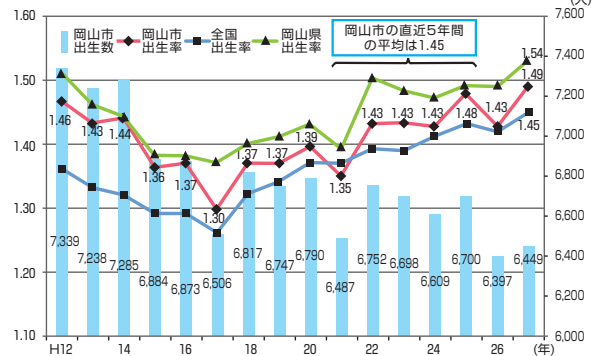
(資料)平均寿命・・・厚生労働省「市区町村別生命表(H25)」

健康寿命・・・厚生労働省研究班「健康寿命の指標化に関する研究(H25年度分担研究報告書)」及び「国民生活基礎調査(H25)」を基に岡山市で算出

■ 子育て・教育ニーズの拡大、若者や女性など市民の力の発揮

- 結婚、妊娠、出産、子育ての希望がかなう環境整備
- 若者、女性をはじめ多様な人材が活躍しやすい環境づくり
- 学力の向上、問題行動、不登校への対応
- 多様な主体の力をいかした地域課題の解決

岡山市の合計特殊出生率と出生数の推移



(注)合計特殊出生率:15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生涯のうちに産むとしたときの子どもの数に相当する。

(資料)岡山市担当課調べ、「岡山県衛生統計年報」、厚生労働省「人口動態統計」

保育所等入園申込児童数の推移

年度(4月1日現在)	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入園申込児童数	14,099	14,607	15,046	15,203	15,453	16,318
受入児童数	13,603	13,930	14,338	14,431	14,515	14,975
未入園児童数	496	677	708	772	938	1,343
待機児童数	0	0	0	0	134	729

(注)保育所等:2号・3号認定を受けた認可保育園、認定こども園、地域型保育事業
未入園児童:保育所等の保育利用資格があり、利用申込しているにもかかわらず、保育利用が決まっていない就学前児童。
待機児童:未入園児童のうち、保護者が求職活動中、通園可能な地域に利用できる園がない等、厚生労働省が待機児童として定義する入所待ちの児童。

(資料)岡山市担当課調べ

全国学力・学習状況調査でのB問題の結果(H28年度)

	平均正答率(%)		偏差値
	全国との差		
小・国語B	58.0	+0.2	50
小・算数B	47.7	+0.5	50
中・国語B	61.6	-4.9	48
中・数学B	40.4	-3.7	48

(注)B問題:主として「活用」に関する問題
(資料)文部科学省「全国学力・学習状況調査」

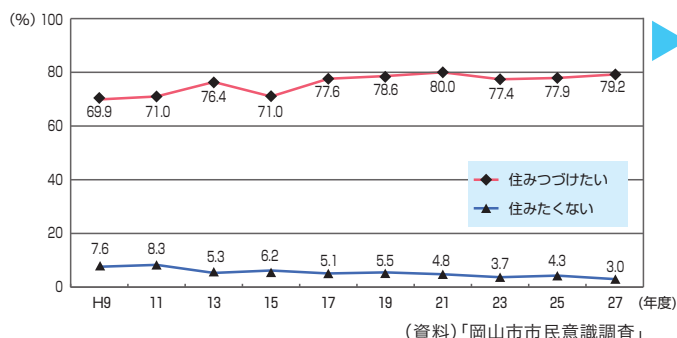
市民の課題意識

岡山市らしさの発揮と発信

- 住みやすさへの一定の評価がある一方で、岡山市の特徴をつくり、都市ブランド力、地域への愛着や関心を高めることが課題

- 地方分権が進展し、グローバル化や広域化など社会情勢が絶えず変化する時代にあっては、地域の独自性をいかしたまちづくりを進めることが必要

◇市民の定住(住みやすさ)に対する意識は？



●住みつづきたい主な理由

- 気候など自然環境がよい……………73.6%
- 先祖代々の土地・墓地がある……………35.5%
- 交通の便がよい……………30.9%

◇全国的な岡山市の認知度は？

	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
認知度	78位	72位	69位
魅力度	188位	178位	129位
地域資源	137位	170位	69位

- 全国から見た岡山市の認知度が必ずしも高いとは言えない状況
- 固有の地域資源の価値を学び、まちづくりにいかし、国内外に積極的に発信していくことが重要

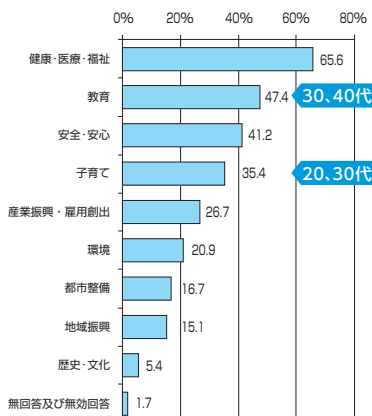
(注) 全国1,000市町村中の順位。
H27 までの調査対象は「20 歳代から60 歳代まで」であったが、H28 から調査対象に70 歳代が追加された。
(資料) ブランド総合研究所「地域ブランド調査」

参考

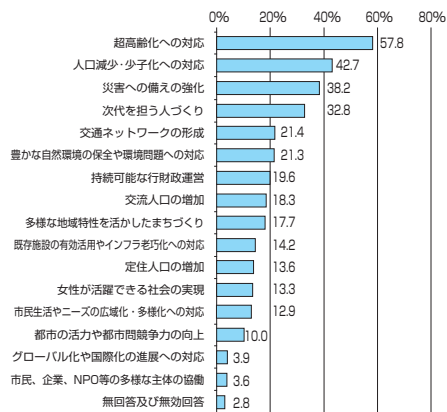
○まちづくりへの市民意識

- 平成27年に実施した市民意識調査によると「大きな方向性として、どんな分野に力を入れるべきか」という問いに対しては、健康・医療・福祉、教育、安全・安心、子育て分野が高くなっています。特に、教育分野は、30、40代のニーズが高く、子育て分野は20、30代のニーズが高くなっています。
- 「今後どのような視点を大切にまちづくりを進めるべきか」という問いに対しては、「超高齢化への対応」が最も多く、次いで、「人口減少・少子化への対応」、「災害への備えの強化」、「次代を担うひとづくり」が3割を超えて相対的に高い割合となっています。

問 大きな方向性として、どんな分野に力を入れるべきか(3つまで選択回答)



問 今後どのような視点を大切にまちづくりを進めるべきか(4つまで選択回答)

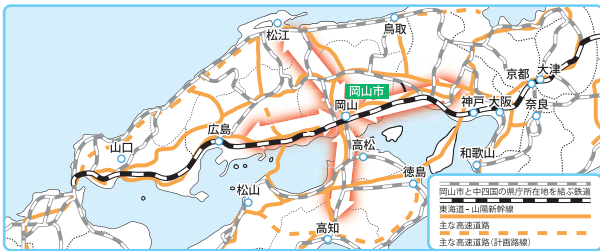


岡山市の強みと特性

■ 立地条件のよさ

高次の機能集積、中四国の交通のクロスポイント

- 商業・医療など、高次の都市機能の集積
- 多くの学生が集う学術・研究の拠点
- 全国的にも非常に優れた交通の広域拠点性



■ 認知度の高い地域資源

先人から引き継ぐ固有の歴史・伝統・文化

- 古代吉備勢力の繁栄
(桃太郎伝説、うらじゃまつり、吉備団子など)
- 岡山城の築城・城下町の形成、岡山後楽園
- 国指定史跡の多さ
(京都市に次いで政令指定都市で2番目)

■ バランスのとれた産業構造

第3次産業中心の産業構造、全国有数の農業都市

- 卸売・小売業や、医療・福祉産業等のサービス業の割合が高い
- 全国ブランドの農産物を生産、全国有数の農業都市

■ 市民力の高さ

活発な地域活動、ESDの取組

- 地縁組織の活発な活動
- 「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功(2014年)
- ユネスコの「キーパートナー」に認定

(注) ESD: Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)の略称。現代社会の抱える環境、人権などの課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、持続可能な社会を創造していく新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動。

■ 住みやすさ

災害が少なく温暖な気候、豊富な医療・介護資源

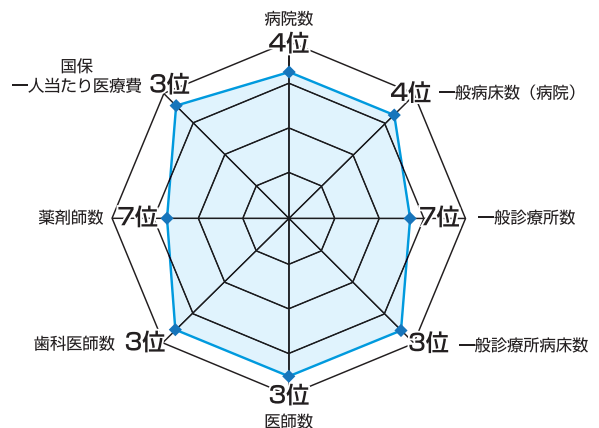
- 温暖な気候に恵まれた「晴れの国」、自然災害が少ない
- 広大な市域、多様な自然環境
- 高度医療を提供する医療機関の集積など医療・介護資源の蓄積

移住希望先としての岡山(都道府県別)

	H22 (2010)	H24 (2012)	H26 (2014)	H27 (2015)
順位	都道府県	都道府県	都道府県	都道府県
1	福島	長野	山梨	長野
2	長野	岡山	長野	山梨
3	千葉	福島	岡山	島根
4	岩手	香川	福島	静岡
5	山形	千葉	新潟	岡山

(資料)ふるさと回帰支援センター「移住希望地域ランキング」

人口10万人当たり医療資源に関する岡山市の順位(政令指定都市中)



(資料)厚生労働省「医療費の地域差分析(H24)」、「医療施設調査(H25)」、「医師・歯科医師・薬剤師調査(H24)」、総務省「国勢調査(H22)」を基に作成

～都市づくりの基本目標～

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

岡山市は、時代の変化や要請、市民の課題意識を踏まえつつ、固有の強みや特性を最大限にいかしながら、活力があふれ、市民が愛着と誇りを持ち、未来へ躍動する都市の実現に向け、岡山市のさらなる発展と市民の満足度の向上をめざした都市づくりを進めます。そして、新たな岡山市の都市づくりの象徴として、未来への躍動感、力強さと健康、白桃に代表される農産物などを、全国的にも知名度が高く、岡山固有の歴史・文化に由来する「桃太郎」に重ね合わせ、「桃太郎のまち岡山」を掲げ、市民と行政が一体となって取り組みます。

都市の躍動感を創出する

- 水と緑に恵まれた美しく快適な環境を大切にし、安全・安心の「住みやすさ」を基盤にしながら、また、市民がまちづくりの変化を実感できるよう、都心部と周辺部との調和とバランスのとれた発展に意を用いながら、国内外に開かれた活発な交流を通じて新たな都市の魅力を創造・発信し、活力と躍動感あふれる都市づくりを進めます。
- これにより、岡山市の都市ブランドを確立し、市民がその魅力を自信を持って国内外に発信できる都市をめざします。
- 岡山市に生まれ、育ち、学び、働き、活動する市民誰もが、個性と能力を最大限に発揮し、一人ひとりが夢や希望を実現できるよう後押しする、人が輝く都市づくりを進めます。

「住みやすさ」に磨きをかける

- これまで培ってきた、安全・安心で、恵まれた自然環境と質の高い都市機能のどちらも享受できる暮らしが、岡山市の魅力として捉えられています。このような「住みやすさ」に磨きをかけ、市民誰もが岡山に住み続けることに誇りを持てる都市づくりを進めます。

市民と行政がともに変えていく

- 都市づくりの目標や課題を市民と行政が共有し、具体的な役割分担を明確にしながら、ともに考え、ともに行動し、その実現に向けて協働で取り組んでいきます。また、市役所自身、市民からの期待に応えられる組織への自己変革を進めます。

将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

地域経済を成長させ、
賑わいを創出する

- 岡山市の持つ優れた立地条件や商業・業務、医療、教育・文化等の都市機能集積の強みをいかした産業育成や、多彩な農業の振興を図ることにより、地域経済の活力を生み出す都市をめざします。
- 都心部において、国内外からの観光・コンベンション、ビジネス等の交流を活発化するとともに、中心市街地の魅力と賑わいを創出することにより、市域全体の発展をけん引する原動力とします。



周辺地域を活性化し、
都心とつなぐ

- 周辺地域の拠点機能を充実し、これと高次の都市機能が集積した都心部とが利便性の高い公共交通等で相互に結ばれた、コンパクトでネットワーク化された都市づくりを進めるとともに、それぞれの周辺地域が多様で豊かな地域資源を十分にいかして活性化と生活機能の維持を図りつつ、個性を発揮し、市域全体が快適で活力あふれる都市をめざします。



新たな文化を創造・
発信する

- 岡山市固有の歴史・伝統・文化をまちづくりに活用するとともに、市民一人ひとりが学び親しむことにより、様々な交流を通じて新たな文化を創造し、岡山市らしさを市民が誇りを持って国内外に積極的に発信する都市をめざします。



圏域の発展をけん
引する

- 高次都市機能の集積をいかし、関係市町と相互に連携しながら、圏域全体の発展を力強くリードする拠点都市をめざします。



将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

子育て環境を充実
させる

- 結婚、妊娠、出産、子育てを希望する誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境が充実し、若者世代が定着し、女性や若者の大きな人材力をいかす都市をめざします。



未来を拓く人材を
育てる

- 子どもが将来に夢と希望を持って健やかに育つよう、就学前から中学校までの学びの連続性を大切にするとともに、家庭、学校、地域が協働して教育力を高めることにより、他者や社会とのつながりを重視して、自ら考え、学び、行動する、未来を拓く人材が育つ都市をめざします。



多様な担い手を
いかす

- ESDの理念に基づき、次代を担う人材を育成し、多様な担い手が、自助・共助・公助の精神で、それぞれの役割を発揮しながら、より良い地域をつくり上げる市民主体の都市をめざします。



将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

健康で安心に暮らす

- 豊富な医療・介護資源をいかし、生涯を通じて健康でいきいきと活躍でき、医療や介護等の支援が必要になっても誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる都市をめざします。



安全に万全を期す

- 都市基盤の計画的な整備と更新、地域における防災、減災、防犯などの自主的な活動を通じて、大規模化する自然災害等への備えに万全を期し、市民の暮らしの安全・安心が確保された都市をめざします。



豊かな自然環境を
引き継ぐ

- 低炭素・循環型社会の推進や、市民一人ひとりが地球環境や将来世代に配慮した行動を実践することで、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを進め、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐ都市をめざします。



将来の都市の形

岡山市では、少子高齢化が進み、将来的には人口減少が想定される中であっても、このような「住みやすさ」に磨きをかけ、都市に活力と躍動感を創出していくため、長期的な視点に立ち、周辺地域と都心が調和し、持続的に発展できる都市づくりを進めます。

方向性1 都市の活力を高め、市民の暮らしを支える拠点の形成

都心と周辺地域の各拠点に、それぞれの特性に応じて、商業・業務、医療・福祉等の様々な都市機能の集積を図るなど、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすい、密度の高いまとまりのある都市空間を形成します。

周辺地域の拠点については、市民の日常生活の行動を基にした地域生活圏や、都市機能の集積状況、公共交通による都心アクセス性のほか、合併により市域を拡大してきた都市の成り立ち等を考慮し、「都市拠点」、「地域拠点」の2種類の拠点を設定します。

地域生活圏の中には、拠点以外にも小中学校区等を単位として、より身近な生活サービス機能や、地域づくり活動・交流の中心としての役割等を担う様々な「日常生活の拠り所」があることから、これらの拠り所を核に、それぞれの地域固有の状況やニーズに応じて、持続可能な地域づくりを市民との協働により進めます。

方向性2 安全・安心で利便性の高いネットワークの形成

鉄道やバス等を中心に、地域特性に応じて、徒歩、自転車、自動車、生活交通等を組み合わせて、利便性が高く、人と環境にやさしい交通ネットワークを構築します。

都心と周辺地域の拠点をつなぐ連携軸では、公共交通の利便性を向上させるとともに、道路整備を推進し、都心と周辺地域との交流・連携を促進します。

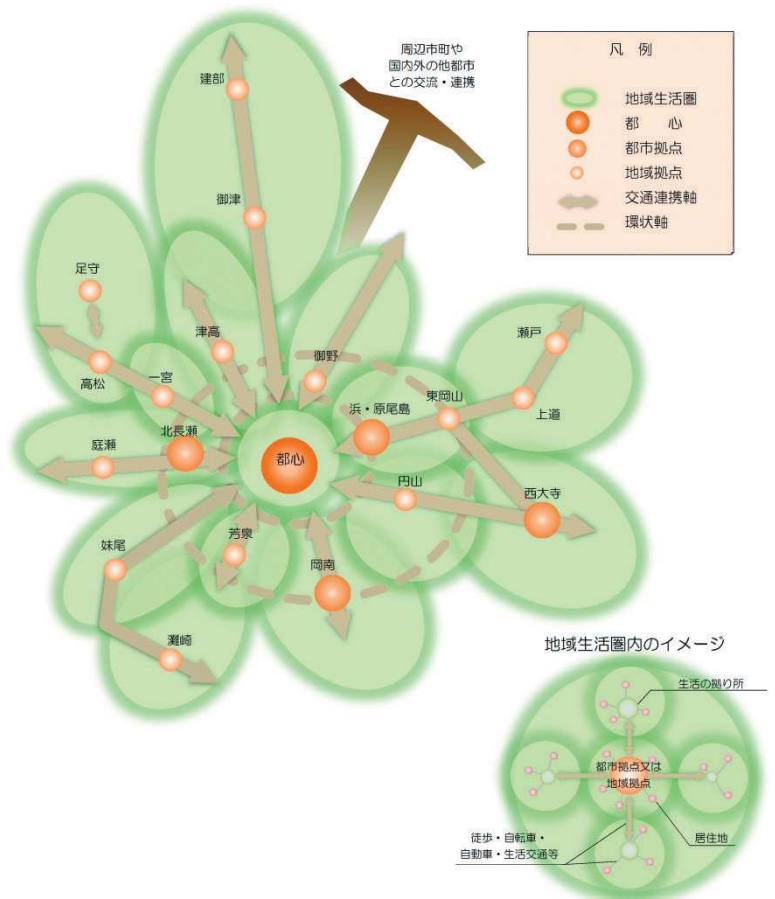
また、地域生活圏内では、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくりに向けて、福祉、子育て・教育、防災・防犯等の課題に市民との協働により取り組むため、地域コミュニティに根ざしたネットワークづくりを進めます。

さらに、広域交流拠点都市として周辺市町や国内外の諸都市とのネットワークを強化していきます。

コンパクトでネットワーク化された都市構造 ～公共交通を中心とした「マスカット型都市構造」イメージ～

<拠点の種類と役割>

①都心	県都岡山の顔であり、岡山都市圏の拠点として、商業・業務、医療・福祉、教育・文化、コンベンション等の高次な都市機能や賑わい・交流機能等が充実し、市全体や都市圏の発展をけん引します。
②都市拠点	都市活動や市民生活の拠点として、都市的サービス機能（各種の商業施設、一定規模を有する医療施設、金融機関の支店等）を有し、都心を補完する役割を担います。
③地域拠点	地域における市民生活の拠点として、主に日常的な生活サービス機能（日常的な買い物施設、一次診療を中心とした医療施設、郵便局等の金融機関等）を有し、地域住民の生活を支えます。



長期構想		前期中期計画（分野別計画）
将来都市像	都市づくりの基本方向	政策
将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、 活力と創造性あふれる 「経済・交流都市」	1 地域経済の活性化による、 魅力と活力あふれるまちづくり	政策1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興 政策2 魅力と賑わいのある中心市街地の創出 政策3 多彩で活力ある農林水産業の振興 政策4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進
	2 コンパクトでネットワーク化さ れた快適で多様なまちづくり	政策5 周辺地域の拠点機能の充実と活性化 政策6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築 政策7 魅力ある景観と快適な住環境づくり
	3 歴史と文化が薫り、誇りと一 体感の持てるまちづくり	政策8 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信 政策9 暮らしに息づく文化芸術の振興 政策10 地域の活力を育むスポーツの振興
将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の 「子育て・教育都市」	4 安心して子育てができ、若者 や女性が輝くまちづくり	政策11 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり 政策12 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援 政策13 女性や若者が活躍できる社会づくり
	5 つながる教育で未来を拓く 人材を育むまちづくり	政策14 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成 政策15 家庭・学校・地域が協働で進める教育力の向上 政策16 生涯にわたる豊かな学びの充実
	6 理解を深め合い、ともに築 く市民主体のまちづくり	政策17 多様な主体による協働のまちづくり 政策18 国際的に開かれた多文化共生のまちづくり 政策19 誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり
将来都市像Ⅲ 全国に誇る、 傑出した安心を築く 「健康福祉・環境都市」	7 住み慣れた地域で安心して 暮らせる健康・福祉のまちづ くり	政策20 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり 政策21 豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり 政策22 ともに生き、ともに支え合う地域社会づくり
	8 地域の力をいかした災害に 強く安全・安心なまちづくり	政策23 災害に強く安全・安心な都市基盤の整備 政策24 地域防災力の強化と消防救急体制の充実 政策25 安全・安心な市民生活の確保
	9 豊かな自然と調和した市民 の手による持続可能なまち づくり	政策26 岡山から広げる地域に根ざした環境づくり 政策27 低炭素型の環境にやさしいまちづくり 政策28 みんなで進める循環型社会の構築
都市経営	10 圏域をリードし、都市の持続 的發展を支える都市経営	政策29 分権・人口減少社会を踏まえた行政の推進 政策30 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営



基本方向 1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり



政策 1 産業

新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興

- 強みと特性をいかした産業競争力の強化
- 中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化
- 拠点性をいかした企業立地の推進
- 企業人材の確保と育成

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
市内就業者数	362,044人 (H25)	374,000人
開業率	5.5%	6.6%
企業立地件数	8件	33件 (H28~32の合計)



政策 2 中心市街地

魅力と賑わいのある中心市街地の創出

- 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり
- 賑わいにつながる回遊性の向上
- 魅力的な商店街の振興
- 高次都市機能の充実・強化

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
快適で賑わいのある都心づくりの満足度	20.4%	23% (H31)
中心市街地の歩行者通行量 上段:平日 下段:休日	3,925人 5,405人	4,500人 5,800人
JR岡山駅乗降客数(1日当たり)	13.2万人	14.3万人



政策 3 農林水産業

多彩で活力ある農林水産業の振興

- 意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大
- 生産基盤の整備と農村の再生・強化
- 地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり
- 森林の活用と水産業の振興

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
新規就農者数	27人	40人
担い手への農地集積率	25.3%	37.5%
多面的機能制度取組面積	2,609ha	7,025ha
岡山産の野菜・果物等の購入を 意識している市民の割合	56.4%	65% (H31)



政策 4 観光・交流

国内外の人を惹きつける観光・交流の推進

- 広域的な観光・インバウンドの推進
- 産学官連携によるコンベンションの誘致
- 戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立
- 移住・定住の促進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
観光入込客数	7,577千人	9,487千人
コンベンション参加者数	152,296人	207,000人
転入超過者数	883人 (H17~26の平均)	1,000人



基本方向 2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり



政策 5 都市・周辺地域

周辺地域の拠点機能の充実と活性化

- 活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進
- 周辺地域の活性化と交流の促進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度	30.8%	32% (H31)
人口集中地区(DID)人口密度	60人/ha	61人/ha



政策 6 交通

人と環境にやさしい交通ネットワークの構築

- 公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築
- 地域における生活交通の確保
- 自転車先進都市の推進
- 道路ネットワークの充実・強化

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
JR市内全駅乗車数(1日当たり)	10.9万人	11.7万人
主要バス路線利用者数(1日当たり)	31,500人	31,500人
生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)	—	4地区
自転車利用環境の整備に対する満足度	15.5%	22% (H31)
主要渋滞箇所数	42箇所	39箇所



政策 7 景観・住環境

魅力ある景観と快適な住環境づくり

- 美しく風格ある都市景観の形成
- 水と緑あふれる憩いの空間づくり
- 快適で暮らしやすい住環境づくり

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
美しい都市景観の形成に対する満足度	26.7%	28% (H31)
公園・緑地の整備や緑化の推進に対する満足度	40.8%	44% (H31)
住宅や住環境の整備に対する満足度	18.4%	20% (H31)



基本方向 3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり



政策 8 歴史・文化

歴史・文化による新たな魅力の創出と発信

- 歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信
- 歴史・文化資産の活用と継承

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
歴史・文化ゾーン来訪者数	316万人	336万人
文化財施設・講演会等への来訪者数	46,815人	47,300人



政策 9 文化芸術

暮らしに息づく文化芸術の振興

- 文化芸術施設を核にした文化芸術の振興
- 市民の文化芸術活動の推進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合	45.2%	60% (H31)
文化活動の振興に対する満足度	19.1%	25% (H31)



政策 10 スポーツ

地域の活力を育むスポーツの振興

- スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成
- 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上
- ライフステージに応じたスポーツの振興

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
成人の週1回以上のスポーツ実施率	34.3%	47% (H31)



基本方向 4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり



政策 11 子育て

安心して子どもを生き育てることができる環境づくり

- 家事と子育ての両立のための基盤整備
- 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進
- 母子の健康づくりへの支援
- 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度	16.7%	30% (H31)
保育所等の待機児童数	729人 (H28.4.1)	0人 (H33.4.1)
放課後児童クラブ入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合	87.7% (H28.4.1)	100% (H33.4.1)
男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合	82.4%	85% (H31)



政策 12 健全育成・自立

子どもの健やかな成長と若者の自立の支援

- 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり
- 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援
- 若者の健全な成長と自立の支援

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
心豊かな岡山っ子応援団賛助団員	11団体	60団体
社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数	—	25人 (H28~32の合計)
里親等委託率	13.3%	23%
青少年の健全育成に対する満足度	11.1%	20% (H31)

(注)心豊かな岡山っ子応援団:子育て・子育てを社会全体で支えていく気運の醸成に向けた、家庭、地域、事業者、学校園、行政の代表24団体で構成する応援団



政策 13 女性・若者

女性や若者が活躍できる社会づくり

- 男女共同参画の推進
- 若者の力をいかした地域づくり

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合	10.7% (H24)	16% (H29)
固定的な性別役割分担意識の解消度	65.4%	73% (H31)
若者(20歳代)の地域活動への参加割合	17.9%	30% (H31)



基本方向 5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり



政策 14 学校教育

知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成

- 主体的な学びの推進による確かな学力の育成
- 人や自然との関わりを通じた豊かな心の育成
- 健康教育の充実による健やかな体の育成
- 一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合	小:85.8% 中:83.5%	小:90% 中:88%
全国学力・学習状況調査のB問題(主として「活用」に関する問題)の偏差値	小6国語:50 小6算数:50 中3国語:48 中3数学:48	小6国語:51 小6算数:51 中3国語:50 中3数学:50
「人が困っている時に進んで助けている」と答えた子どもの割合	小:85.5% 中:80.2%	小:92% 中:90%
1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合	中2男子:91.9% 中2女子:75.3%	中2男子:93% 中2女子:79%



政策 15 教育環境

家庭・学校・地域が協働で進める教育力の向上

- 教職員の資質能力の向上と支援体制の充実
- 安全・安心で快適な教育環境の整備
- 家庭・学校・地域の連携強化

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合	50.2% (H28)	60%
全38中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数	30中学校区	35中学校区

(注) 地域協働学校：保護者や地域住民が学校運営に参画する学校



政策 16 生涯学習

生涯にわたる豊かな学びの充実

- 豊かな学びの機会と場の提供

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数	6.3冊	6.4冊
公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数	815,750人	816,000人



基本方向 6 理解を深め合い、ともに築く 市民主体のまちづくり



政策 17 協働、ESD

多様な主体による協働のまちづくり

- ESD 活動の拡大と質の向上
- 地域における主体的な活動の促進
- 多様な主体による協働の推進
- 特色ある区づくりの推進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
ESDプロジェクト参加団体数	246団体	300団体 (H31)
地域活動への参加割合	39.9%	52% (H31)
企業・NPO 法人等が参加した安全・安心ネットワーク数	23団体	50団体



政策 18 国際

国際的に開かれた多文化共生のまちづくり

- 国際交流の促進とグローバル人材の育成
- 多文化共生の環境づくり

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
国際交流・国際化について満足している市民の割合	11.1%	13% (H31)
岡山市に住み続けたい外国人市民の割合	83.1%	88%



政策 19 人権

誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり

- 人権意識の高揚
- 平和を大切にする意識の醸成

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合	45.9% (H25)	47% (H30)



基本方向7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり



政策20 健康

生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり

- 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進
- いきいきと活躍できる生涯現役社会づくり
- 介護予防の推進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
健康寿命		
上段:男性	71.6歳	72.2歳
下段:女性	73.4歳 (H25)	75.3歳 (H31)
生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数	61人	660人



政策21 医療・介護

豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり

- 地域包括ケアシステムの構築
- 在宅医療・介護の推進
- 認知症対策の推進
- 持続可能な保険制度の運営

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
かかりつけ医がいる市民(60~80歳代)の割合	63% (H24)	70% (H31)
生活・介護支援サポーター養成数	822人	1,550人
認知症サポーター数	28,924人	49,000人



政策22 福祉

ともに生き、ともに支え合う地域社会づくり

- 障害者の自立支援と社会参加の促進
- 重層的なセーフティネットの構築
- 地域福祉の推進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
障害者の福祉施設から一般就労への移行者数	86人	120人
就労支援を行った生活保護受給者数	833人	860人
就労支援を行った生活困窮者数	144人	170人



基本方向8 地域力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり



政策23 防災・減災

災害に強く安全・安心な都市基盤の整備

- 総合的な浸水対策の推進
- 市有施設等の耐震化・長寿命化の推進
- 都市施設の安全・安心の確保
- ライフラインの計画的な整備・管理

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
下水道浸水重点対策整備率	20%	53%
住宅・建築物等の耐震化率		
上段:住宅	83%	95%
下段:避難路沿道建築物	87%	95%
水道の基幹管路(口径400mm以上)の耐震適合率	41.8%	45.8%
市中心部の下水道管さよの老朽化点検率	30%	71%



政策 24 地域防災

地域防災力の強化と消防救急体制の充実

- 地域防災力の強化
- 消防救急体制の充実強化

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
自主防災組織率	62.4%	75%
住宅用火災警報器の設置率		
上段:設置率	67.7%	85%
下段:条例適合率	53.8%	70%



政策 25 市民生活

安全・安心な市民生活の確保

- 地域防犯力の強化と交通安全対策の推進
- 消費生活の安全・安心の確保

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
安全・安心な地域社会と感じる市民の割合	82%	86% (H31)
刑法犯認知件数	7,186件	5,500件



基本方向 9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり



政策 26 環境活動

岡山から広げる地域に根ざした環境づくり

- 生物多様性の保全と環境との共生
- 環境教育・学習の推進
- 市民、事業者との協働による美しく快適なまちづくり

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
ホテルの生息地	200地点	200地点 (H31)
多様な主体による自然体験プログラム開催数	420回	450回
美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数(1主要通り当たりの1日平均)	106個	100個



政策 27 低炭素

低炭素型の環境にやさしいまちづくり

- 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進
- 環境にやさしいライフスタイルへの転換

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
温室効果ガス排出量	6,476 ^{千t-CO₂} (H25)	6,000 ^{千t-CO₂} (H30)
環境にやさしいライフスタイルの実践度	46%	56% (H31)



政策 28 循環型社会

みんなで進める循環型社会の構築

- ごみの減量化とリサイクルの推進
- 廃棄物の適正処理の推進
- 総合的な污水处理対策の推進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
ごみの資源化率	22.7%	28%
市民1人1日当たりのごみ排出量	837g	809g
污水处理人口普及率	80.9%	85%

(注) 污水处理人口普及率:行政人口(住民基本台帳に登録された人口)のうち、下水道、集落排水、合併処理浄化槽などの污水处理施設を利用することが可能な人口の比率。



基本方向10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

政策 29 地方創生、行政体制

分権・人口減少社会を踏まえた行政の推進

- 地方創生の推進
- 圏域をリードする広域連携の推進
- 大都市制度の推進

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
岡山市に住み続けたいと考える市民の割合	79.2%	85% (H31)

政策 30 行財政運営

将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営

- 健全で持続可能な財政運営
- 公共施設のマネジメントの推進
- 効率的・効果的な市民サービスの提供と公民連携の推進
- 組織力の向上
- 透明性の高い開かれた市政運営

成果指標	基準値 H27	目標値 H32
実質公債費比率	9.5%	9%台
行政窓口の充実に対する満足度	18.7%	25% (H31)
岡山市役所の管理職に占める女性の割合	8.4%	14%
広報・広聴、情報公開、市民参加の推進に対する満足度	13.1%	18% (H31)

(注) 実質公債費比率：一般会計等が負担した市債等の償還額が、標準財政規模に占める比率。過去3年間の平均で示される。

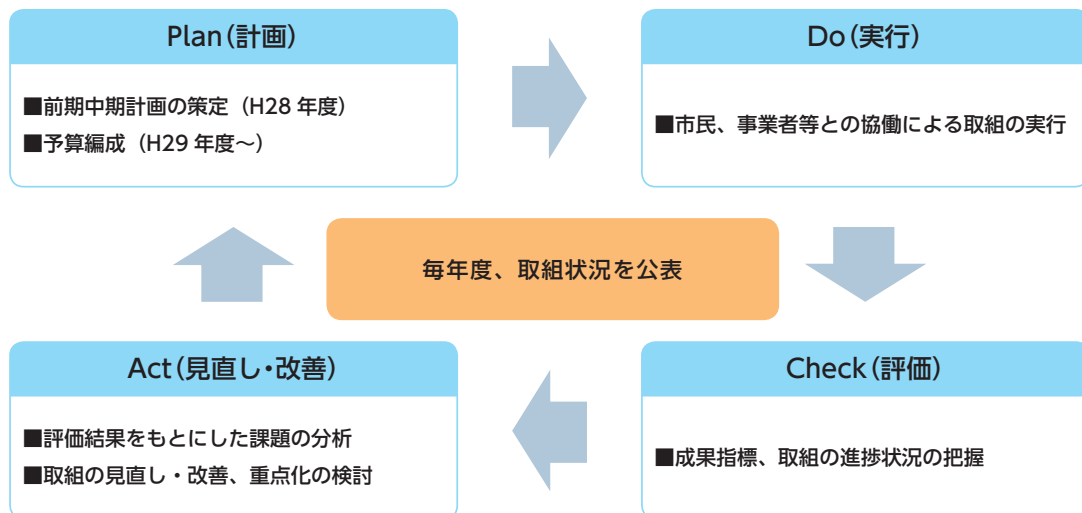
計画の進行管理

「計画」(Plan) → 「実行」(Do) → 「評価」(Check) → 「見直し」(Act) を繰り返す「PDCA サイクル」の考え方に基づいた進行管理を行います。

具体的には、30の政策ごとに成果指標を設定し、各施策のもとで実施する取組の達成状況等を毎年度評価し、公表します。

評価結果を踏まえ、必要に応じた取組の見直しや重点化を検討した上で、予算編成を行うことにより、市民ニーズや社会経済情勢の変化にも柔軟に対応しつつ、計画を着実に推進します。

PDCA サイクルによる進行管理のイメージ

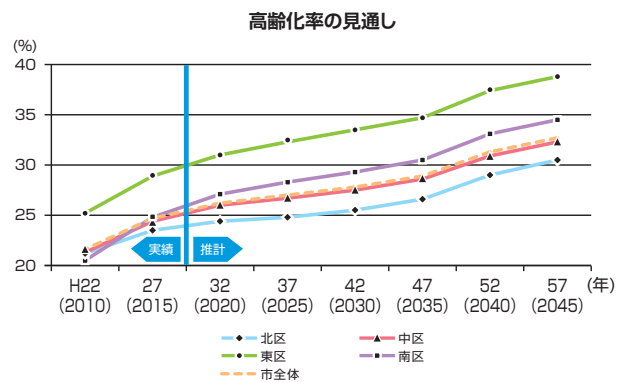
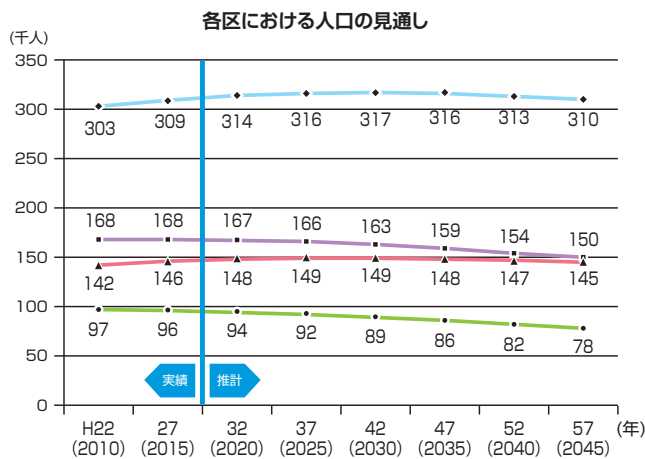


区に特徴的な課題に対応し、区の特徴をいかしたまちづくりを市民との協働により進めるため、4つの行政区ごとに「区づくりの将来目標」を定め、区で重点的に推進すべき施策や市民生活に密着した施策を示しています。

各区における人口の見通し

北区及び中区の人口は、当面増加が続くことが予測されますが、北区は、平成42（2030）年、中区は、平成37（2025）年から平成42（2030）年をピークに緩やかに減少していく見通しです。南区の人口は、平成27（2015）年をピークに減少に転ずる見通しであり、東区の人口は、平成22（2010）年をピークに既に減少に転じています。

高齢化の一層の進行により、平成57（2045）年には、全ての区で高齢化率が30%を超える見通しです。



(資料) 総務省「国勢調査」(実績値)、岡山市推計結果(推計値)

区分		岡山市	北区	中区	東区	南区
面積 (km ²)		789.95	450.70	51.24	160.53	127.48
人口 (人)		719,474	309,484	146,232	95,577	168,181
平成22～27年人口増減率 (%)		1.4	2.2	2.8	△ 1.4	0.3
人口密度 (人/km ²)		910.8	686.7	2,853.3	595.4	1,319.3
年齢別割合	0～14歳 (%)	13.7	12.9	14.9	13.1	14.5
	15～64歳 (%)	61.5	63.5	60.8	57.9	60.7
	65歳以上 (%)	24.7	23.5	24.4	28.9	24.8
一般世帯数 (世帯)		308,807	145,834	61,412	36,127	65,434
1世帯当たり人員 (人)		2.27	2.06	2.33	2.58	2.52
世帯の家族類型	夫婦と子ども (%)	26.5	22.4	28.8	30.7	31.2
	単独世帯 (%)	37.9	47.3	33.6	25.1	28.0

(資料) 国土地理院「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」
総務省「平成27年国勢調査」



北区

区づくりの将来目標

自然と共生し、歴史と文化が薫る 賑わいと交流のまち 北区

北部の山間部や清流旭川をはじめとする豊かな自然と共生しながら、岡山城、岡山後楽園や吉備路等の豊富な歴史・文化資産等を最大限にいかして、多くの人交流する魅力と賑わいあふれるまちづくりを進めます。また、区民一人ひとりが互いに温かく支え合い、いきいきと活躍できる北区の実現をめざします。

区づくりの重視すべき視点

視点1 まちなかの魅力と賑わいを高め、周辺地域の多様な資源をいかす

高次な都市機能が集積する都心部と自然、歴史・文化、食等の多様で豊かな資源に恵まれた各地域とが、それぞれの魅力を高め、発信することにより、区民の愛着と誇りを醸成するとともに、市内外から多くの人訪れ、賑わいあふれるまちづくりを進めます。

視点2 人と人、地域と地域の交流・連携を深める

都心部と地域の拠点とを利便性の高い公共交通ネットワーク等で結ぶとともに、都心部においては歴史・文化、学術・芸術等の集積をいかした多様な学びと交流、周辺地域においては歴史・文化をはじめ自然や農業をいかした交流を促進することにより、人と人、地域と地域が交流・連携するまちづくりを進めます。

視点3 多様な人材が力を発揮し、ともに自らの地域を築く

区民一人ひとりが、まちづくりの主役としてそれぞれの地域でいきいきと活躍し、学生やNPO等の多様な力をいかして、ともに築いていくまちづくりを進めます。

誰もが、温かくふれあい、互いに支え合うことにより、安心して安全に暮らせるまちづくりを進めます。

施策展開の方向性

- まちなかの魅力と賑わいの創出
- 農村部、中山間地域の活性化
- 企業立地の推進
- 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信
- まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上
- 持続可能で活力のある地域づくり
- 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり



西川緑道公園筋（歩行者天国のにぎわい）



水辺教室



河原邸



志呂神社御供



津高ふれあいマスカットまつり



ウォーキングイベント

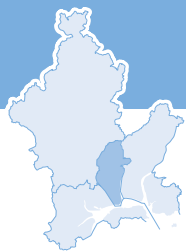
拡大図



区分		岡山市	北区
面積 (km ²)		789.95	450.70
人口 (人)		719,474	309,484
人口増減率 (%)		1.4	2.2
人口密度 (人/km ²)		910.8	686.7
年齢別割合	0～14歳 (%)	13.7	12.9
	15～64歳 (%)	61.5	63.5
	65歳以上 (%)	24.7	23.5

(資料) 国土地理院「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」
総務省「平成27年国勢調査」





中区

区づくりの将来目標

ふれあいと活気にあふれ、快適で住む喜びに満ちたまち 中区

旭川や百間川、操山、龍ノ口山に代表される豊かな水や緑を身近に感じながら、都心部から連続した市街地が広がり利便性の高い暮らしを楽しむことのできる住みやすさに一層の磨きをかけます。また、地域での支え合いや様々な主体との協働による活力ある地域づくりを進め、歴史・文化資産、特産品等の地域資源も活用することにより、子どもから高齢者までの誰もが安心・快適に暮らせる、住む喜びに満ちた中区の実現をめざします。

区づくりの重視すべき視点

視点1 「自然」と「便利さ」が調和する住の魅力を高める

都心部へのアクセス性に優れ、職住近接を可能とする利便性の高い住環境と豊かな自然環境が調和し、人口増加の続く高いポテンシャルをいかした、快適で住みやすいまちづくりを進めます。

視点2 「住」を彩る水と緑、歴史・文化などの地域資源をいかす

暮らしに憩いと潤いをもたらす豊かな水と緑の環境を守り、次世代へ継承していきます。

各地域に息づく歴史・文化資産や特産品等の地域資源を活用、発信していくことにより、活力のあるまちづくりを進めます。

視点3 多様な地域の担い手が活躍する

自治組織、NPO、企業、大学等の多様な主体がつながり、若者をはじめとした様々な世代が、活発に交流できるまちづくりを進めます。

地域の防災・防犯力を高め、交通安全対策を充実することにより、災害に強く、犯罪や交通事故の少ない安全なまちづくりを進めます。

地域での健康づくり活動や見守り、支え合いにより、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

施策展開の方向性

- 交通利便性の向上
- 豊かな自然環境の保全
- 地域資源の活用と発信
- 多世代の交流・協働による地域づくり
- 地域住民の手による防災・防犯力の向上



里山センター



龍ノ口山



百間川ボートコース



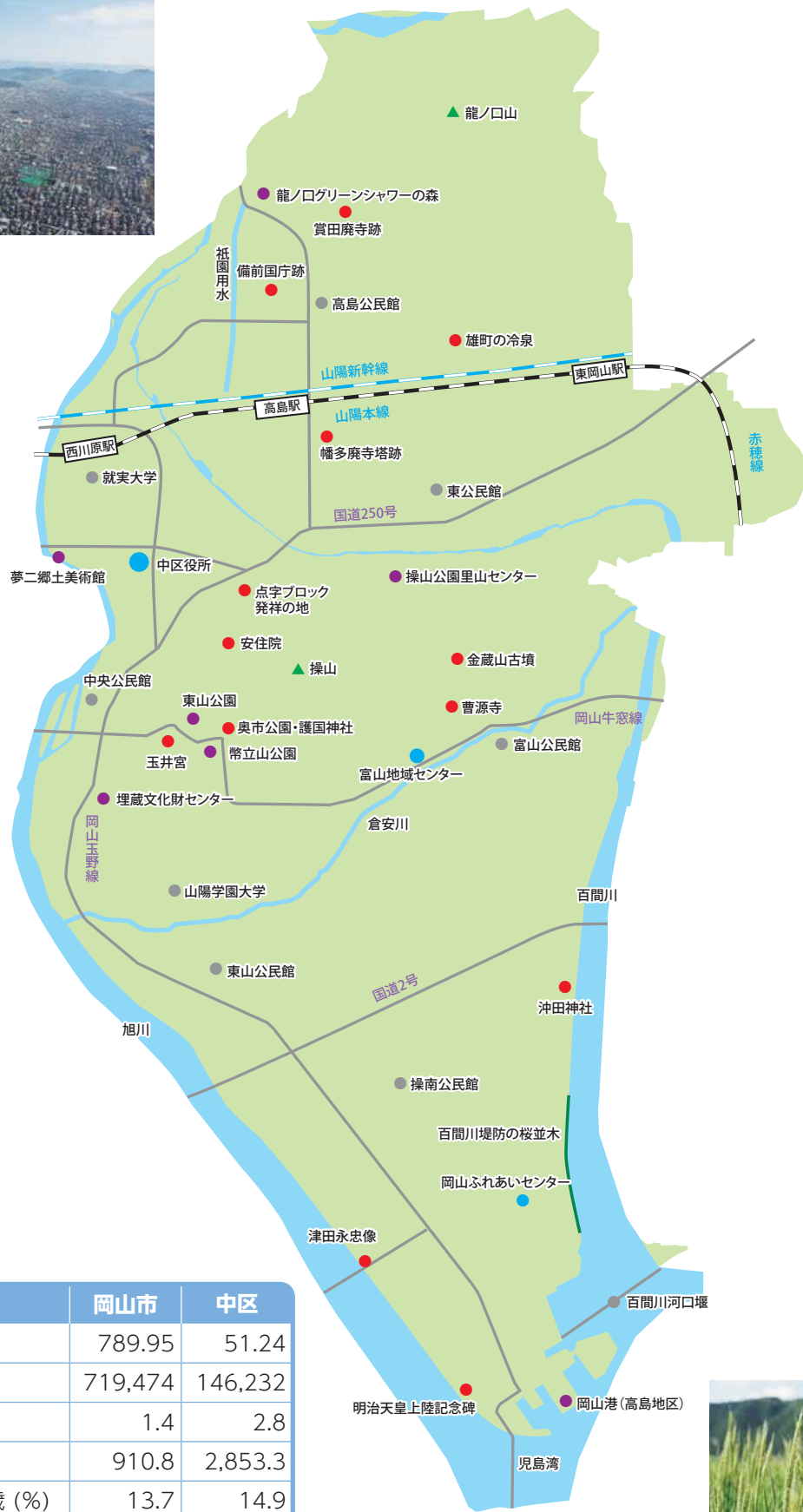
地域での多世代交流



曹源寺



大学と連携した救命講習



区分		岡山市	中区
面積 (km ²)		789.95	51.24
人口 (人)		719,474	146,232
人口増減率 (%)		1.4	2.8
人口密度 (人/km ²)		910.8	2,853.3
年齢別割合	0~14歳 (%)	13.7	14.9
	15~64歳 (%)	61.5	60.8
	65歳以上 (%)	24.7	24.4

(資料) 国土地理院「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」
総務省「平成27年国勢調査」





東区

区づくりの将来目標

いつまでも住み続けたい 歴史が息づき愛着の持てるまち 東区

まちに息づく特色ある歴史・伝統・文化と豊かな自然環境等の地域資源の魅力をいかながら、地域で生まれ育った若者をはじめ、誰もが地域に愛着と誇りを持ち、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進め、人口減少社会が既に到来している中であっても、持続可能で活力ある東区の実現をめざします。

区づくりの重視すべき視点

視点1 独自の歴史・伝統・文化をいかす

独自に培われてきた歴史・伝統・文化をいかしたまちづくりにより、区民の地域への愛着と誇りを醸成します。

高い区民力をいかながら、各地域で特色ある行事・イベントを開催するとともに、様々な地域資源の魅力を積極的に発信することにより、区内外の交流や多世代のふれあいを活発化させ、賑わいのある、人を呼び込むまちづくりを進めます。

視点2 産業・農業を振興し、地域経済を活性化させる

企業立地の推進等を通じて産業を振興し、雇用の場を創出するとともに、魅力ある農業を振興することにより、地域経済を活性化させ、持続可能なまちづくりを進めます。

視点3 自然と共生した、安心・快適な暮らしを実現する

交通等の生活の利便性を高め、世代を問わず豊かな自然と共生しながら快適で健やかに暮らせるまちづくりを進めます。

地域の強い結束をいかし、みんなで支え合い、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らすことのできる、安全・安心のまちづくりを進めます。

施策展開の方向性

- 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり
- 多世代が交流・活動できる地域づくり
- 企業立地の推進と持続可能な農業の振興
- 交通利便性の向上
- 健やかに暮らせる地域づくり
- 安全・安心な地域づくり

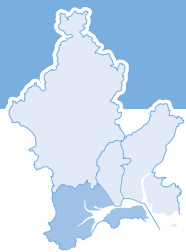




区分		岡山市	東区
面積 (km ²)		789.95	160.53
人口 (人)		719,474	95,577
人口増減率 (%)		1.4	△ 1.4
人口密度 (人/km ²)		910.8	595.4
年齢別割合	0～14歳 (%)	13.7	13.1
	15～64歳 (%)	61.5	57.9
	65歳以上 (%)	24.7	28.9

(資料) 国土地理院「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」
総務省「平成27年国勢調査」





南区

区づくりの将来目標

人・まち・自然が調和し、笑顔輝く実りのふるさと 南区

世界有数の人造湖である児島湖、瀬戸内海国立公園の一角をなす児島半島等の豊かな自然環境や、臨海工業地帯が広がり大規模商業施設が立地する岡南地域、都心部から連続する市街地など、地域の多面性をいかしたまちづくりを進めます。

また、実り豊かな農産物を生み出す広大な干拓地での農業を次代に引き継ぎながら、地域、事業者、行政のつながりを大切に、魅力と活力があり安全・安心に暮らせるまちづくりを進めることにより、笑顔が輝き、幸せを実感できる南区の実現をめざします。

区づくりの重視すべき視点

視点1 みんなの力で災害に備え、安全・安心を築く

河川、沿岸部等の危険箇所への対策を推進しながら、自助・共助の精神で区民が互いに支え合い、協力し合う体制を強化することにより、災害による被害を最小限にとどめることのできる、災害に強い安全・安心な地域づくりを進めます。

視点2 地域の資産をいかし、活力ある未来を創る

先人が築いた全国有数の広大な干拓農地で生まれ、岡山の食を支える農業を振興することにより、豊かで活力ある未来につながるまちづくりを進めます。

事業者を含めた多様な力を結集して、魅力と活力ある地域づくりを進めるとともに、固有の歴史・伝統・文化に親しみ、内外に向けて発信することにより、地域への愛着と誇りを醸成し、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

視点3 誰もが快適・健やかに暮らせる環境を整える

交通利便性の向上や生活交通の確保等を進め、住環境の快適さや利便性の維持・向上を図るとともに、地域での自主的な健康づくり活動を活性化することにより、子どもから高齢者まで誰もがいきいきと暮らせる、住む魅力に満ちたまちづくりを進めます。

施策展開の方向性

- 地域で取り組む防災・防犯対策の充実
- 活力のある農業の振興
- 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化
- 地域の魅力の発掘・発信
- 交通の利便性の向上
- 健やかに暮らせる地域づくり



防災訓練



サウスヴィレッジ



妹尾・真島ふるさとさくら祭り



興除 お米フェスティバル



浦安総合公園



健康体操



区分		岡山市	南区
面積 (km ²)		789.95	127.48
人口 (人)		719,474	168,181
人口増減率 (%)		1.4	0.3
人口密度 (人/km ²)		910.8	1,319.3
年齢別割合	0~14歳 (%)	13.7	14.5
	15~64歳 (%)	61.5	60.7
	65歳以上 (%)	24.7	24.8

(資料) 国土地理院「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」
総務省「平成27年国勢調査」





岡山市第六次総合計画

平成29年3月

発行：岡山市 編集：岡山市政策局

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

電話：086-803-1000(代)